



認定看護師通信



今回は脳卒中リハビリテーション看護CNと皮膚・排泄ケアCNが担当します。

2015年3月発行
Vol. 11

脳卒中リハビリテーション看護CN

今回は公益社団法人 日本脳卒中協会 熊本県支部の発行のくまモンの脳卒中ノートを基に回復期病棟での脳卒中患者さんへの退院にむけての集団・個別指導についてお伝えします。

くまモン脳卒中ノートってなに？

熊本県の脳卒中を発症された患者さんを対象に配布されているものです。ノートは、脳卒中がどんな病気であるかを知り、再発予防にどんなことを注意すればよいか、またリハビリや在宅治療についての情報を知ることができます。そこで回復期病棟ではノートを活用し集団・個別指導で脳卒中がどんな病気か理解して頂き、再発防止の知識を増やし再発予防の実践ができるように支援しています。またくまモン脳卒中ノートにクイズを盛り込み、2回/週に集団指導をし、患者に応じては個別指導を受け持ち看護師が中心となり退院指導をがんばってます。

脳卒中予防十カ条（日本脳卒中学会）

1	高血圧	手始めに高血圧から治しましょう
2	糖尿病	糖尿病放っておいたら悔い残る
3	心房細動	不整脈見つかれば次第すぐ受診
4	禁煙	予防にはタバコを止める意思を持って
5	飲酒	アルコール控えめは薬、過ぎれば毒
6	脂質異常症	高すぎるコレステロールも見逃すな
7	塩分制限	お食事の塩分・脂肪控えめに
8	運動	体力に合った運動続けよう
9	適正体重維持	万病の引き金になる 太りすぎ
10	万が一の場合	脳卒中 起きたらすぐに病院へ

文責：寺本 清美



集団指導の様子

皮膚・排泄ケアCN

今回、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会において、ストーマ術後患者さんの不安をテーマに北3Fの古城さん、鹿田さんが症例発表をされました。学会の会場が東京ディズニーリゾートホテルという事もあり、たくさんの参加者の中、ストーマ保有患者さんが社会復帰していく中での不安について、ま

とめられていました。また、座長の先生にお褒めの言葉を戴き、とてもいい症例発表となりました。今後この経験を生かし、これからの看護に役立てて行かれる事を願います。お疲れ様でした。今度の九州ストーマ研究会は沖縄開催です。どなたか症例発表してみませんか。 文責：松北 直美



第32回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会
The 32nd Annual Meeting of Japanese Society of Stoma and Continence Rehabilitation

少子化社会に向けたストーマ・排泄ケア

■ 2015年2月27日(金)・28日(土)

■ シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル
(東京都港区新橋2-1-1) TEL: 03-5561-0100

会長 斎藤 忠則 (日本脳卒中学会 名誉会長 東京医科歯科大学)

幹事 高野 静子 (日本脳卒中学会 名誉会長 東京医科歯科大学)